

英字新聞の読み方 基礎編その6

P a r t 1

今回取り上げるのは、ニュース記事によく出てくる「動詞+ing」の働きについてです。「～ing」は進行中のことや近未来のことを表わす時に使われるおなじみの形です。これは現在起きていることやこれからの動きを表現するもので、こういう臨場感のあるいきいきとした表現はニュース記事では好んで使われます。またこの形を使うことで現在の状況を伝えたり、情報を簡潔に伝えたりすることが可能となります。

この形には3つの働きがあります。それは、**名詞**の役割をする動名詞、名詞を修飾して**形容詞**の役割をする分詞、接続詞と動詞の役を兼ね**副詞的**な働きをする分詞構文などがあります。以前の基礎編で取り上げた **to phrase** の役割として名詞句、形容詞句、副詞句などの用法がありましたが、あのケースとよく似ています。ではそれぞれニュース例文を挙げながらその実際を見ていきましょう。

◆名詞の役割をする～ing 「～すること」

この形の説明によく引き合いに出されるのが“**Seeing is believing.**”（見ることは信じることだ＝百聞は一見に如かず、論より証拠）ということわざです。**Seeing** は名詞の役を果たす動名詞と呼ばれている語です。「動詞+ing」で表されますが、動詞の要素を持ちながら名詞の働きをする言葉です。名詞であれば、主語、目的語あるいは補語として使われます。**believing** は、同様の「動詞+ing」ですが、ここでは補語として機能しています。さてニュースからの例文です。